

博士課程教育リーディングプログラム「京都大学大学院 思修館」

平成 23 年度文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」のオールラウンド型に「京都大学大学院 思修館」が採択されました。

本プログラムは、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

本プログラム「京都大学大学院思修館」では、高い使命感・倫理観を有するグローバルリーダーとしての責任を持ち、種々のプレッシャーに耐え、広い知識と深い専門性を両立させた柔軟性ある思考で既存の学問や課題領域を束ねることができ、かつ国内外での豊富な実践教育を通じて、「現場」での的確な判断力・行動力を備えたリーダーたる人材を育成します。

【思修館の名前の由来】

我が国の伝統的な学びの一つの形である「聞思修」という言葉があり、聞いて得られる智慧である聞慧、思索によって得られる智慧である思慧、実践によって得られる智慧である修慧を意味しています。深い思索により思慧を得て、毎日実践することで修慧に繋がる。それができるのが思修館です。

キャリアパス

授与される学位は、博士(総合学術)です。高い使命感、倫理観、洞察力、企画力、人間力、突破力、責任感を有し、国際社会のトップリーダーとして活躍できる確かな専門性と柔軟性のある幅広い知識に裏付けられた総力戦を展開できる人材を育成します。

学生の志に順じた多様なキャリアパスを想定

就 職

多国籍企業を含む様々な企業
や国際機関、中央省庁・地方
自治体、研究機関、大学等へ
の就職

NGO 活動

国際的な NGO 活動への参加

起 業

新産業創出を目指し、
国内外で起業

リーディング大学院修了生は、従来型の博士課程とは異なるものであり、新たな博士人材を企業等に理解してもらうことが必要と考えています。
本学は「思修館」の教育活動と成果を双方向で積極的に社会へ情報発信するとともに、円卓会議等や大学・企業・行政機関の連携による新しいキャリアパスの構築を積極的に推進します。

お問い合わせ

京都大学総務部企画課 大学院思修館設置準備室

T E L : 075-753-5122

F A X : 075-753-5147

E メール : junbisitsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

U R L : <http://www.sals.kyoto-u.ac.jp/>

京都大学大学院 思修館

発 行：京都大学総務部企画課 大学院思修館設置準備室
TEL：075-753-5122 FAX：075-753-5147 Eメール：junbisitsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

博士課程教育リーディングプログラム

京都大学大学院 思修館

Graduate School of Advanced Leadership Studies, Kyoto University

厳しいカリキュラムと愛情豊かな指導による 5年一貫リーダー育成プログラム

大学院思修館は、高い使命感・倫理観を有するグローバルリーダーとしての責任を持ち、種々のプレッシャーに耐え、広い知識と深い専門性を両立させた柔軟性ある思考で既存の学問や課題領域を束ねることができ、かつ国内外での豊富な実践教育を通じて、「現場」での的確な判断力・行動力を備えたリーダーたる人材を育成します。


3つの育成方針

- 志、自鍛、責任感を重視
- 現地実践力、突破力を重視
- 国際標準の知識と経験

「学業に専念させる学寮制と経済支援」

合宿型研修施設（学寮）

学位論文研究や熟議等による膨大かつハードな課題をこなすため、24時間体制で学生同士や異分野同士の議論が行え、切磋琢磨できる環境を整備。学寮居住の専任教員（学寮長）やメンターによるケアも実施。運動会などの課外活動も行い、心技体を鍛錬




経済支援（予定）

授業料などの経済的負担を軽減し、教育カリキュラムの履修及び学位論文研究に専念できるように、特に優秀な履修生に奨励金を支給。独自の教育研究活動を行うための研究活動経費を必要に応じて措置

「熟議」

リーダーの講義と問答およびディベート演習、精緻なレポート作成等、講師とのやり取りを通じて、リーダー学（考え方、行動、チャレンジ精神など）を習得



個人レポートのほか、グループワークも課す

「テーラーメイドカリキュラム」

個々の学生に対して自らが望む将来のリーダーの姿を定め、そのために必要な知識及び経験に応じてリーダーとしての育成計画とカリキュラムを提供

最終審査及び学位認定 (第3次 Qualifying Examination)

学位審査等：通常の学位認定審査に加え、TOEFL iBT100点以上が修了要件

成果報告審査会

国際機関や企業等での武者修行成果等をまとめ、その実力を社会に問う成果報告審査会を実施



京都大学博士（総合学術） 英文名称 Ph.D

中間審査 (第1次 Qualifying Examination)

総合的な課題解決の基礎となる研究と知識に関する学位論文草稿の予備審査を行う
合格者のみが3年次に進学



3年目 総合学術基盤講義


- 様々な分野を俯瞰的に見通し、総合化できる能力等を支え、国内外のリーダーと十分に討議できる知識と提案力の育成基盤となる学術8分野（八思）の先導的基盤講義を受講
- 全学的な協力体制の下、学内外の講師陣で実施
- 多くの科目を英語で実施

進学審査 (第2次 Qualifying Examination)

総合的な課題解決の軸となるテーラーメイド型研究成果（学位論文草稿）の審査及び総合学術基盤科目と語学の審査と口頭試問
合格者のみが4年次に進学

4年目 国際実践教育（海外武者修行）

- “特任研究員”として派遣。大学機関、企業や行政機関、UNESCO や JICA などの国際機関等と連携し、現場に根ざした実践教育と現場からの課題発見・解決型の企画を実施
- 国際的リーダーとしての意識と責任感及び突破力を一体的に育成



プログラム履修者

- 基礎学力試験、論文試験、口頭試問の実施
- TOEFL iBT80点以上

5年目 プロジェクトベースラーニング

- 4年間の経験と知見を活用して、学生自らがプロジェクトを立案し、国内外の関係者を巻き込んで実行
- 分野横断的・連環的に総合課題を解決する企画・実行力、交渉力、発信力を獲得

2年目 専門科目特別研究

[学位論文研究]
[国外サービスラーニング]
[熟議] 隔週土曜日

1年目 専門科目特別研究

[学位論文研究]
[国内サービスラーニング]
短期ボランティア活動を実践してその精神を学ぶだけでなく、リーダーとして様々な立場と視点および文化・社会習慣を理解して行動できるように鍛錬する。1年次は国内、2年次は国外で実施
[熟議] 隔週土曜日

プログラムの特色

- (1) 自らに恃むことのできるテーラーメイド軸としての博士号と同等の確固たる「専門性」を修得させる専門科目特別研究
- (2) 国内外のリーダーと十分に討議できる知識と提案力を育成する主に英語による総合学術基盤講義（八思）
- (3) 各界トップリーダーとの徹底討議の場「熟議」
- (4) 世界観の醸成と人間力の強化のための1、2年次を通じたサービスラーニング型の現地実践教育
- (5) 国際的に通用する総合力を育成する1年間の国際実践教育（海外武者修行）
- (6) 学生自らがプロジェクトを立案し国内外の関係者を巻き込んで行う、5年次のプロジェクトベースラーニング
- (7) 学業に専念させ、切磋琢磨できる研修型の学寮制
- (8) 基礎学力試験、論文試験、口頭試問、TOEFL (iBT 80点以上) 等により、外国人、社会人、出身大学の区別なしにプログラム履修者を選抜（20名程度/年）
- (9) リーディング大学院学位運営機構（仮称）を設置し、大学として一括管理運営
- (10) 国内外のトップリーダーからなる外部評価委員会及びアドバイザーボードを設置し、持続的な改革・改善を推進

思修館の運営・指導体制

リーディングプログラム学位運営機構（仮称） (機構長：総長)

- 運営委員会
- プログラム修了審査委員会
- 奨励金等選考委員会

外部評価委員会

他の複合型プログラム 学位審査委員会

